

新名神高速道路 鵜殿ヨシ原の環境保全に関する検討会 設立趣旨

新名神高速道路は、日本の国土軸を形成し、今後ますます期待される国際競争力の強化、さらなる社会経済活動の活発化への基盤となる路線である。

一方、新名神高速道路が交差する鵜殿ヨシ原は、多様な生物の生育生息環境であるとともに、雅楽で使用される良質なヨシの生育地であり、自然環境、歴史・文化的にも極めて重要な場所である。

このような認識の上、弊社では、「鵜殿ヨシ原の環境保全に関する基本的な考え方」として、

- ・ ヨシ原に極力影響を及ぼさないよう万全な対策を講じる
- ・ 対策検討にあたっては、専門家や関係者のご意見を十分伺う
- ・ ヨシ原焼きが従来通り継続的に実施できるよう関係機関と調整し、対策を検討する
- ・ 雅楽で使用される良質なヨシ生育環境の保全と事業の両立に向け全力で取り組む

以上を策定したところである。

この基本的な考え方を踏まえ、新名神高速道路の整備にあたって、良質なヨシ生育環境の保全との両立に向け、専門家から必要な調査、対策について指導、助言を得るため「新名神高速道路 鵜殿ヨシ原の環境保全に関する検討会」を設置するものである。

平成25年1月10日
西日本高速道路株式会社関西支社